

2023年度 第3回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時:2023年 9月 14日(木) 13:00 ~ 15:54

会 場:日本代協 会議室

出席者:全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 2名(津田文雄監事、小島俊宏監事)

リアル出席 :小田島会長、横山副会長、小俣副会長、中島副会長、山中副会長、佐々木理事
雨宮理事、小橋理事、谷川理事、松本理事、石川理事、藤山理事、大城理事
大和理事、金澤専務、坂常務

Web出席 :下村理事、北島理事 (事務局は、Web 参加)

会長 小田島 綾子氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第 33 条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

< 会長挨拶骨子 >

皆様、お疲れ様でございます。

格別に暑い今年の夏でした。そして例年以上の豪雨、台風到来、大きな被害に遭われた地域がありました。お見舞いを申し上げるとともに、災害情報に、よりアンテナを立て、防災減災、リスクアドバイザーとしての役割を担ってまいりましょう。

さて、2か月ぶりの理事会です、この間に協議会、委員会活動など理事の皆さまから推進していただいておりますことにお礼を申し上げます。8月下旬、9月にオンラインで全国会議に参加し、委員の方々の熱い行動力と温かなお心をそのお話の中から感じ取りました。気候や、様々な報道で動きにくさはあるかと存じますが、しっかりと成果を掴んでいただきたいです。

約2ヶ月前、保険会社のカルテル問題、そしてBM問題、激震が走りました。

保険会社には今後の改善と再発防止取り組みを強く要望していますが、まだ全容把握も出来ていない状況です。引き続き、適時適切な情報開示を求め、また皆様との情報共有に努めてまいります。

保険会社のイメージダウンや、お客様の不安や不満など、代理店も複雑な思い、心配がつのも方も大勢いらっしゃることは存じ上げております。

8月に私からメッセージをお送りしましたが、いまだからこそ、冷静に保険業務に携わる倫理感、使命感、お客様本位の業務運営に向き合い、健全な保険の普及、環境を育ててまいりましょう。

引き続き、自社の自立と自律、コンプライアンス、ガバナンスのPDCAの実行と募集人の資質向上が大切なことは、ご承知のとおりです。

「人材が資本だと捉え、その価値を最大限に引き出すことが会社の企業価値向上につながる考え方」が、より広がっています。

代協が提供する代理店価値向上プログラム、アカデミーや、ジギョケイなど利用していただきたいと思います。

変化の激しい環境において、自社や組織が停滞せず、イノベーションを起こし未来に向かうためには挑戦を続けなければなりません。
新たな課題意識を持ちながら、ご一緒に取り組んでまいりましょう。
よろしく申し上げます。

<7月14日理事会以降の業務報告>

- 8月21日 広報委員会 全国会議オンライン参加
- 8月31日 保代協、損保労連懇談
- 9月6日 CSR委員会 全国会議オンライン参加

〔審議事項〕

1. 2023年度「功労者表彰」の選定

選考会議議長を務めた横山副会長より、資料に基づいて、表彰者の選考結果が報告され、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

・2023年度表彰者(推薦書の提出順)は以下のとおりである。

沼田 忍 氏(香川)、中西 淳治氏(奈良)、塩谷 広志氏(兵庫)
町田 安弘(埼玉)、金子 紀代志氏(愛知)、星 一郎 氏(福島)
杉村 浩平氏(長野)、黒田 福史郎氏(宮崎)、吉川 裕 氏(富山)

・代表者挨拶は四国ブロック香川県代協 沼田 忍 氏にお願いする。

【説明・意見】

- ・推薦申請通り、各候補者とも表彰基準を充たし、代協活動において申し分のない功績を残されていることを確認した。
- ・候補者の推薦に当たっては、地域担当理事に事前協議の段階から関わっていただいた。表彰基準として提示している日本代協役員の期数・年数や各代協役員の期数・年数などの在職年数は推薦の前提条件であり、具体的な実績に対する貢献内容を表彰するものであることを改めて共有し、事前協議からすり合わせを行う必要がある。
- ・ブロック内における選考過程を検証し、表彰施行規則の理解と書類のチェック体制等を徹底し、次年度の候補者選定に向けての早期始動と推薦資料の期限内提出を厳守することを確認した。
- ・本年度は、推薦資料の期限内提出が順守された。
- ・ブロックから、在任期間後で数値に現れないような功績評価がある場合などは、ブロック内でしっかり議論を行っていききたいとの意見があった。

〔資料 審 1.〕 2022 年度表彰候補者一覧(P.1)、表彰者選考結果(別冊 席上配付資料)

2. 2024 年度コンサルティングコース受講者募集のブロック別目標数

資料に基づき、石川教育委員長より説明を行い、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・事業計画の通り、日本代協自主目標総数 840 名をブロック別に振り分ける。
- ・代協別の目標数は、各ブロック内で協議のうえ確定いただく。

(理事会資料) 審 2_2024 年度コンサルティングコース受講者募集目標数

【主な説明】

- ・先般の教育委員会において、各代協の目標案について確認したところ、教育委員の中では、しっかりと読み込みがなされており、ブロック、各代協の皆さまの意欲を感じることが出来ている。

〔報告事項〕

1. 委員会担当理事からの報告

(1) 企画環境委員会

松本委員長より、諮問・推進事項に関する取組報告があり、共有された。

(主な説明)

- ・富士フィルムと展開しているジギョケイの DM 作成の発注数がゼロである。お客様へのアプローチが出来ていないことの裏返しである。社労士診断認証制度については、8 月にオンデマンドでセミナーを開催し、着実に視聴者は増加している。次の課題は、宣言からいかに実施、適合になるかであり、お客さまに対するアプローチが鍵となるが、そこで重要なことは、地域地域で社労士との連携を行うことである。現在、山口県代協と山口社労士会でタイアップイベントを計画し、連携事例を生み出そうとしている。12 月開催を予定している。
- ・10 月 3 日開催予定のリスクマネジメントセミナーは、現時点で 198 社の申込をいただいている。本年度は代協 HP のトップページやアカデミーのポータルサイトから申し込みが出来るようになった。入口の拡充を図ってはいるが、受講意欲はあっても本受講に至らない点は課題である。価値向上の施策は、顧客本位が求められる中で代理店の成長をいかに考えるかにおいては、重要なものと認識しているので、引き続き推進を行いたい。
- ・諸問題が出ている中で、事業者団体規制や保険業法に関する 2020 年作成動画を全会員にご覧いただけるよう委員会検討事項として準備を進めている。(現在アカデミー会員のみ視聴可能のため)
- ・JSA-S に関しては、計画的に周知活動を行っていきたいと考えている。

(2) 教育委員会

石川教育委員長より、諮問・推進事項に関する取組報告があり、共有された。

(主な説明)

- ・大学課程の第一回 web セミナーは終盤に入るが、各ブロックのご協力により、問題なく推進されている。本年度は、例えば東京地区のセミナーを北東北ブロックで担当してもらうなど都市部代協の回数負担を減らすための分散開催を行っている。各地のご協力に感謝申し上げる。運営面では、司会者の負担を減少させるために、AI で代替アナウンスができるよう検討し、同時に損害保険協会とも協議を行っている。あくまでも担当いただく「個人」の負担を減らすことを主眼とする。コンサルコースの

募集については、大阪代協による昨年の TNP 対応の経験を活かし、TNP の現地社長への直接訪問、協力要請から進めることを教育委員会内で共有しており、ブロックにおける役割分担などを確認しつつ推進している。

- ・諸問題が収束する段階を想定して、業界を冷静に俯瞰した場合に、代理店だけの問題ではないものの、当局から業界団体に対してどのような教育を行っているかの問題提起があってもおかしくない状態である。その中でトータルプランナーの認定数がわずかに 16,000 人であることを考えると指定教育機関として、この状態で実行性があるのかが問われるとたいへん厳しい状態だと思料する。
- ・システム会社からの情報によると、モーター代理店から体制整備のためのシステム導入の要請が殺到しているとの話がある。専門以外のチャンネルを含めた業界全体が、より良い方向に向かおうとするならば、教育の観点が再度見直されるはずである。この機会をチャンスととらえて損害保険大学課程の推進とアカデミーの推進支援を行っていただきたい。

(3) 組織委員会

藤山組織委員長より、諮問・推進事項に関する取組報告があり、共有された

(主な説明)

- ・9月8日の組織委員会では、諸問題がある中で委員の意識を整理するために「倫理綱領」についての勉強会を実施し、保険会社との友誼的關係について共有できた。
- ・仲間づくり推進のための題材として代理店賠償があり、その点をアピールしているが、日本代協アカデミーを追加題材として、特に未加入代理店への加入メリットを感じてもらうものとして展開したいと考え、石川教育委員長から直接アカデミー勉強会を行っていただき、委員会メンバーへの周知に務めた。同様の観点で、1月の委員会には、松本企画環境委員長から社労士連携やリスマネ等の勉強会を開催していただく。
- ・本年度は岩手、佐賀、富山、長野、奈良でセミナーを開催し、今後岡山、阪神、近畿、長野支部合同、上信越、東海、岩手、北海道を対応する予定である。盛り上げご協力をお願いする。
- ・仲間づくりの詳細については、下記2(1) 主な業務報告パートで説明する。

(4) 広報委員会

大和広報委員長より、諮問・推進事項に関する取組報告があり、共有された

(主な説明)

- ・PR 企画については、23 年度は PR 動画作成のみで起案検討し、12 月理事会に上程する。
- (意見) PR 企画の方向は賛成であるが、今後の内容として個人から中小企業に添うような視点があれば、よりよくなるものとする。
- ・みなさまの保険情報の購入率は低調であり、拡大につながる好事例共有と共に施策自体を見極めることも重要ではないか。
- ・LINE WORKS については、費用と機能面のメリットはあるものの、複数アカウントを保持している場合の切替負荷が大きいため、理事会への上程は見合わせる。複数アカウント使用についての意見などをもう少し集約して、今後の展開を考えていきたい。
- (意見) 個人情報上の問題はどうか整理しているか
無料版と有料版の違いおよびバックドアの所在の問題ではないか
現行のメール、direct 併用方式の方が、セキュリティ効果があると思われる
LINE WORKS 利用者としては、Direct よりも利便性はあるが、複数アカウントの問題は、感じている。

(5) CSR委員会

大城委員長より、諮問・推進事項に関する取組報告があり、共有された

・防災減災に関する具体的取組

各地の防災イベントに代協として出店計画し、実際に多くの出店をいただいている。そこで得たノウハウや展示内容などの情報を蓄積し活用していきたいと考えている。昨年兵庫代協で防災国体に出店いただいた経験をCSR委員会の全国一斉MTGで共有している。横浜で開催の防災国体には、CSR委員会メンバーも有志で積極的に参加しており、期待度の高いイベントであることを実感している。出前授業の活発な北陸ブロックの取組の中で、富山代協より資料、アプローチの仕方などの資料を共有させてもらい展開に役立てることが出来ている。

・ぼうさい体験隊マップコンクール

現時点で宮城、山形、福島、新潟、愛知、和歌山、宮崎が達成している。未稼働は高知であり、全代協達成に向けフォローする。取組が活性している代協の特徴は、お願いではなく、様々な人にこの取組を周知していることである。課題は、本来の目的を周知することである。目標数字ありきではなく、子供たちの安全安心な環境を作ることを忘れてはいけない。

(意見) 従来の出前授業のテーマは、若者の運転が主たるものであったが、10月開催予定の東海地区ロープレ勉強会の内容は、伝えやすさやしナリオなどを共有するものなのか？またそれをフィードバック出来るのか？

従来は、地域ごとにやり方が異なっている。資料も話す内容も異なっていたので、統一感を出すことおよび品質アップのための勉強会である。適宜情報をお伝えする

(意見) 本年度防災国体開催およびそのテーマについて確認したい

神奈川の防災国体は、横浜国大で開催され、日本代協と損保協会ブースが確保されている。セミナーテーマは「今の都市は災害に強くなったか？」である。

2. 前回理事会(7月19日)以降の主な業務報告

(1) 仲間づくり推進

【主な説明】

・福井、京都、奈良、徳島に続き 速報ベースで香川、三重の6代協に達成いただいた。

50%達成代協も16代協34%となる。

・課題は、退会理由1-4以外の増加である。前年比7%悪化しており注視が必要と考える。その対策としては、明日の会長懇談会でも討議される「支部の活性化」と代理店賠償セミナーに代協会員の募集人に参加していただき、代理店賠償の内容と代協活動を知ってもらうことと認識している。

・非会員という言葉を「未加入会員」に変更している。地域担当理事にも徹底してもらいたい。

(意見) 退会理由1-4以外の課題視すべきその他理由の詳細状況を確認したい。

・仲間づくりだけでなく、会員増強を目指していただくよう組織委員会でも共有しているので、地域担当理事の皆さまには、ブロック協議会などでの周知徹底をお願いしたい。

(理事会追加資料)追加2(1)仲間づくり推進(正会員増強運動)目標達成状況表(8月末)

(2) 損害保険大学課程各コースの認定状況等

【主な説明】

・コンサルティングコースの認定有効者数は16,365名

・顔写真付き認定証の発行依頼が進んでいないので、情宣活動をお願いする。

累計の発注件数は、個別注文108件 団体注文29件 計137件である。

・認定有効期限について、毎年期限切れを救済してくれとの問い合わせが入っている。

確実な更新励行をお願いするのみである。

(意見) 顔写真付認定証の申込操作が面倒である 合同運営会議でも課題共有している。

(理事会資料)追加 2(2)_ 損害保険大学課程各コースの認定状況等について(8月末)

(3) 日本代協アカデミー

【主な説明】

- ・8月末 635店の登録に対して、3月末登録は 866店である。
- ・登録済みの会員を確認すると、率先して情報を集める代理店や募集人の多い代理店が、アカデミーを積極的に活用していることがわかる。
- ・独自に教育体制が構築されていたり、他の教育ツールを活用しているなら良いが、これほど安価で提供されているものは、ないはずである。
- ・経営者として厳しく足元を見るならば、10年前から経営が止まっているのではないだろうかと危惧する。伸びている代理店は、やはり代理店内で教育制度や資格制度を充実させている。代理店規模を考えると我々の対応は、アカデミーを一つのきっかけにすることにつきるのではないか。
- ・利用者にとっては、カテゴリー別などの機能追加で利用しやすくなっている一方、教育管理者側から見ると進捗確認機能が弱まっていることを事実として受け止めないといけない。限られた予算と限られたベンダーの中で作り上げている点をご理解いただきたい。
- ・教育システムをアカデミーに変更した募集人 300名以上の代理店が存在する。大手の代理店さんはこちらにシフトし、年間 100万円以上のコストを削減している話もある。
- ・保険関連のシステム会社のアンケートでは、回答した募集人の 70%が、自代理店の教育の仕組みや、運営に不安を感じていることがわかっている。

(理事会追加資料)追加 2(3)_アカデミー都道府県別集計データ(8月末)

(4) 活力研実施概要

【主な説明】

- ・明日の会長懇談会の冒頭で説明し、質疑応答を行う。
- ・説明内容は 5 テーマとする
テーマ決めのプロセス 保険会社とのやり取り 議事録について その他 質疑応答
- ・テーマは、下記記載のフリートなどの具体事例に基づくものとして決定したことを説明する。
- ・保険会社とのやりとりは、6月半ばに実施した中での保険会社の反応などを披露する。
- ・その他では、当局の見方、感じ方などを説明する予定である。

<1> あるべき手数料ポイント制度

- ・フリート契約の優良割引進行に伴う保険料減
- ・認定制度の定量基準に満たない「専属専業代理店」に対するポイント評価

<2> 顧客本位の業務運営の中で代理店の成長をどう考えるのか

ポイントは解説動画(31分)を、詳細は議事録を参照いただきたい。

【参考資料】

解説動画 <https://vimeo.com/855551521?share=copy> (pw:daikyo)

議事録 <https://www.nihondaikyo.or.jp/wp-content/uploads/2023/08/katuryokuken23-1.pdf>

(5) 代理店賠償更新状況について

【主な内容】

- ・9月11日入金までの集計ベースでは会員の 82.9% 9,036件の加入となっている。
締切案内を繰り返しながら、最後までフォローしていきたい。
- ・事務局への入電内容は、相変わらず書類紛失、トータルプランナーの認定番号不明など従来同様

である。

(6) 自己点検レベルアップ講座について

【主な内容】

- ・自己点検プログラムへのアクセス状況からは、活用数が少ないことが一目瞭然である。
長野県代協から一昨年提言があったものだが、なかなか浸透しない。

(理事会資料)報 2-6_ 20230607 自己点検プログラムアクセス数

(7) 「未来塾」サマースクール報告および第 3 期受講申し込みのご案内

【主な内容】

- ・第 3 期受講生を募集中であり、現状 9 名の申込をいただいている。20 名までご参加いただきたいので、会長懇談会でもご紹介する。第二期生のインタビューやサマースクールの様子、滝澤講師のメッセージなどご案内し、情宣につとめたい。
- ・今回は、経営歴が長い経営者、規模の大きい代理店経営者の応募が多い。オンライン研修で手軽に受講できるので、PRしていただきたい。

(理事会資料)報 2-7_ 未来塾第 3 期

3. その他

(1) 2024 年度事業計画に対する提言提出依頼

【主な内容】

- ・10/31(火)を回答期限とする提出フォローを地域担当理事の皆さまにお願いします。

- ・昨年の提言の中で、「三冠王の運用」について、見直しを含めた意見があった。本年度は前年同様の運営となったが、三冠王の引っ張り方がこれで良いのかという問題はあると思料する。6 月総会での達成代協の皆さまの感動を十分に認識した上で、保険会社の古きキャンペーンのようなものでよいのかという意見も多い。

これらの意見を踏まえ、提言の有無を問わず、10 月理事会で三冠王について意見交換を行いたい。

(理事会資料)報 3_ 2024 年度事業計画に対する提言ご提出のお願い

(2) 2022 度末代理店統計

7 月末公表の損保協会集計データは、下記の通りである。

- ・代理店総数 156,152 店 (4,311 店 2.7%)
- ・募集従事者数 1,845,354 人 (158,157 人)
- ・専業代理店数 27,838 店 (1,347 店)
- ・主要指標 代理店扱 90.5% 専業 17.8% 自関連 54.8% 専属 76.7% 個人 40.5%

(協会 HP <https://www.sonpo.or.jp/report/statistics/boshu/index.html>)

【主な内容】

- 募集従事者数が大幅減となっている背景は、特定代理店における大量の使用人削除の影響が出たものである。

(3) 参議院補欠選挙の要望書改定

【主な内容】

- ・小田島会長、小平政連会長連名での要望書の内容を改定したもの。
- ・自然災害の激甚化、頻発化 に伴い、水災リスクにおいて税制優遇や補助金提供などにより無保険状態を防ぐ対策を講じてもらいたいとの提言である。

(理事会資料)報 3-3_ 参議院補欠選挙の要望書

(4) 各種情報提供

無料オンライン勉強会

土川アドバイザーによる勉強会を会長懇談会でもご案内する。

10月24日16時から1時間の無料勉強

代理店HPの役割と重要性を見直すための無料オンライン勉強会

明日ご案内来週正式発信する

地域での表彰事例

青森 成田弘前支部長兼広報委員が表彰を受けられたもの。素晴らしい表彰内容であり、会長懇談会でもご披露する

現状と課題

現状と課題2023年版を9月20日に会員の皆様に発送する

【監事講評】

小島監事から以下の通り、監事講評があった。

審議事項、報告事項とも適切な運営がなされたものであった。

審議事項における功労者表彰については、各ブロックで代協のために心血を注いでこられたキャリアを拝見し、改めてそのご功績に敬意を表したい。コンサルタントコース受講者のブロック別目標については、前年度の各ブロックの素晴らしい達成率から、本年も意識付けがなされ、達成されることを期待する。

各委員会活動については、具体的方策について愚直に真摯に検討した内容を施行されていることを確認した。仲間づくり推進活動については、正会員の増強は、一進一退ではあろうが、代協が日々取り組んでいる各施策は意義深いものであり、上手く訴求出来れば、賛同者すなわち入会希望者は、自ずと積みあがるものと思われる。業界を見渡すと世の中を騒がせる事案がメディアを賑わしている。このような時だからこそ、同業者が結束する意義は、いつにも増して高まっており、この代協の存在が求められていると思料する。

以上

【2023年度 日本代協主要イベント 年間スケジュール一覧表】

会議の追加もしくは下記の日程及び時間は変更することもあります。

理事会開催日の午前中(原則10:30-12:00)は正副会長は直前の打ち合わせを行います。

総会・および会議名	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月
総会							3/8(金) 10:00-12:00
会長懇談会	9/15(金) 13:00-18:00 Zoom開催			12/8(金) 13:00-18:00 Zoom開催			3/8(金) 13:00-18:00
理事会 (正副は当日AM 打合せあり)	9/14(木) 13:00-17:00	10/13(金) 13:00-17:00		12/7(木) 13:00-17:00		2/9(金) 13:00-17:00	3/7(木) 13:00-17:00
正副会長会議	9/26(火) 9:00-11:00 Zoom		11/21(火) 9:00-11:00 Zoom		1/23(火) 9:00-11:00 Zoom		
事業計画 諮問事項打ち合 わせ				12/6(水) 15:30-18:00			
企画環境委員会	9/11(月) 13:30-17:00		Zoom 11/13(月) 15:00-17:00		1/16(火) 13:30-17:00	Zoom 2/19(月) 15:00-17:00	
教育委員会	9/1(金) 10-18:00				1/26(金) 10-18:00		
組織委員会	9/8(金) 13-17:00		11/8(水) 13-17:00		1/24(水) 13-17:00		
CSR委員会	9/6(水)全国会議 15:00-17:00 9/19(火) 13:30-17:00				1/19(金) 13:30-17:00		
広報委員会	9/13(水) 13:30-17:00				1/23(火) 13:30-17:00		
活力研						2/21(水) 15:00-18:00	
7社懇							
業界紙との意見交 換会							
コンベンション (PT)	9/21(木) 16:00-18:00	10/19(木) 16:00-18:00	11/7(火) 16:00-18:00 11/17(金) 11/18(土)			未定	
代理店経営未来塾			11/21(火) 15:00-17:30	12/18(月) 15:00-17:30	1/15(月) 15:00-17:30	2/26(月) 15:00-17:30	3/18(月) 15:00-17:30

< 修正履歴 >

2023.2 CSR委員会9月日程を修正

2023.3 2024年3月 総会、会長懇談会、理事会日程決定

2023/4/11 コンベンションPT会議、代理店経営未来塾 日程追加

2023/4/13 企画環境委員会 Zoom会議日程追加

2023/4/14 コンベンションPT 5月日程変更

2023/4/18 活力研・7社懇・業界紙 日程追加

2023/4/27 9月、12月の会長懇談会はZoom開催の旨追記

2023/5/23 11月のコンベンションPT日程を変更

2023/6/22 広報委員会 Zoom会議日程追加

2023/6/28 CSR委員長 Zoom会議日程追加

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後 3 時 54 分閉会した。

なお、WEB 会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了した。

上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2023 年 9 月 14 日

議長 会長 小田島 綾子 印

議事録署名人 監事 津田 文雄 印

議事録署名人 監事 小島 俊宏 印

議事録作成者 坂 雅夫

本書は、2023 年 9 月 14 日に開催された一般社団法人 日本損害保険代理業協会の 2023 年度第 3 回理事会の議事録に相違ないことを証す。

2023 年 7 月 14 日

一般社団法人 日本損害保険代理業協会
会長(理事) 小田島 綾子